

鎌田博物館 器物資料

	資料	標題	年代	作成者	材質形状	法量1	法量2	内容註記	図
A	58	地球儀	天保九年春	[中條澄友写]	紙、漆喰、金属、木製	球部径29.4	軸長35.0	台座なし。彩色あり、水染みあり。南極付近に墨書「天保戊戌春／土御門安倍晴親卿門人／中條澄友写」中條澄友＝通称勝治郎。阿野郡林田村出身の高松藩士。漢学・天文・暦学に長じ無相流新柔術の創始者。	有
A	59	天球儀	[江戸時代後期]	[久米栄左衛門]	紙、漆喰、金属、木製	最大高48.5 基台部43.1×48.3×29.2	球部径34.7		有
A	60	星眼鏡	江戸時代後期	[久米栄左衛門]	金属、木製、ガラス	鏡筒長238.0～400.0 鏡筒外径9.0	(箱)縦229.0×横15.2×高15.8	通賢自作と伝えられる天体望遠鏡。鏡筒は二段式になっており伸縮が可能。箱蓋「星眼鏡 天文方」箱身の金具破損。箱内に金具2点有。鏡筒についていた	有
A	61	象限儀	[文化3年カ]	[久米栄左衛門]	木製、金属、ガラス	象限盤半径96.1 同幅145.3 同厚4.9	鏡筒5.3×5.3×149.1 架台57.0×47.7×133.5	円を四分の一に切った形の角度測定器とそれに沿って回転する指度板によって恒星の高度を測定する機器。指度盤は現在失われている	有
A	62	ヲクタントフ	[文化3年前後]	[久米某試]	真鍮、木製	基部径33.6 同幅29.0	全体高6.5 操作桿長33.8 同幅3.0	銘文あり。バーニア副尺が付いている。木製に黒い紙貼の箱(33.7×37.0×8.5)あり	有
A	63-1	平盤測定器	天保七年春	久米栄左衛門	真鍮、木製	基台部28.5×11.9×2.5 鉛直軸2.4×1.9×28.4	測定軸長25.7 方位磁針径4.5	方位と一二支を陰刻した蓋が付属している(丸分度力)。裏に「天保丙申春／通賢作之」の陰刻有	有
A	63-2	平盤測定器	天保七年春	久米栄左衛門	鉛、木製	幅2.8 奥行1.9 高15.2		器具の垂直を見るための錘。A-63-1に付属	有
A	63-3	平盤測定器	天保七年春	久米栄左衛門	鯨のひげ	幅1.6 長13.2 厚0.8		折畳式量距尺。A-63-1に付属していたもの	有
A	63-4	平盤測定器	天保七年春	久米栄左衛門	鯨のひげ	幅1.9 長19.5 厚1.2		折畳式量距尺。A-63-1に付属していたもの	有
A	63-5	平盤測定器	天保七年春	久米栄左衛門	木製	幅15.4 奥行31.8 高6.7	(紙)縦24.4 横16.7	(箱書)「久米栄左衛門作／平盤測定器」「天保丙申春／久米栄左衛門作日時計」箱書は後筆。「栓／管一ヶ／三ヶ」と書かれた紙が入っている	有

鎌田博物館 器物資料

	資料	標題	年代	作成者	材質形状	法量1	法量2	内容註記	図
A	64	地平儀	文化三年霜月	久米栄左衛門	木製、金属、ガラス	全体76.0×76.0×69.2 中心軸長29.4	測定盤径55.2 同厚3.9 指度板長31.8 同幅4.6	測定盤の蓋裏「文化三年丙寅霜降月 久米栄左衛門器」 栓抜型の指度板にバーニア副尺有。測定盤に方位磁石と十二支の目盛。足に高さ調節ねじが	有
A	65	地球儀			紙、漆喰、金属、木製	基台部48.2×48.2×29.0 球部径33.6		表面の紙はほとんど失われている	有
C	25	自然水	[江戸時代文化年間]	[久米栄左衛門]	木製、鉄製	水車径72.0 水車部全体72.0×55.2×98.7	水槽部93.5×60.0×21.5 全体総高107.0	全体に虫害、鼠害がみられる。 水車の外側や架台の上面等に黒漆様の塗料が塗布されている	有
C	26-1	引札版木 牛旋激水図	[江戸時代文化年間]	[久米栄左衛門]	木製	31.0×42.2		墨書銘裏「久米氏／與平」	有
C	26-2	引札版木 牛旋激水・牛曳碓一器二器ヲ兼タル図	[江戸時代文化年間]	[久米栄左衛門]	木製	29.9×41.9			有
C	27	櫓時計			木、金属製、ガラス、網	幅27.5 奥行24.8 高87.5	(カバー部)幅14.8 奥行15.5 高87.5	時計部分にカバーあり	有
C	28	小置時計			木、金属製	幅13.0 奥行8.2 高13.0		オルゴールが組み込まれている	有
C	29	翻傘三本開	文政七年夏	[久米栄左衛門]	銃砲3点	(筒)長73.8 径8.5	(傘)長57.5 径9.5	筒胴部「文政七年申夏製之／翻傘三本開」の墨書有。 筒胴1点、傘2点	有
C	30	磁鉄鉈	文化六年四月上旬	久米栄左衛門所持	鉈石(箱入)1箇	(石)12.2×13.2×12.0	(箱)15.0×15.4×9.5	(墨書銘箱裏)「文化六歳／己巳四月上旬取之／慈石掛目六百七捨目／刀之四捨目止ケル也」	有
C	31	坂出簡易水道の木管	[江戸時代、安政年間力]		木製	幅45.7 奥行154.0 高39.0		坂出中央小学校前(旧塩竈神社付近)より掘り出されたもの	有
C	32	瓦硯	[江戸時代後期]	伝久米栄左衛門所用	土師質1点	35.0×26.2×5.5	(箱)38.8 奥行29.2 高8.2	(箱書)「瓦硯／傳國分寺瓦／久米栄左衛門遺愛品」箱書は後	有
E	30	槍間銃	[天保十～十一年]	[久米栄左衛門]	金属製	長26.2 口径1.3			有
E	31	必勝剣	[天保十一年]	[久米栄左衛門]	木、金属製	長44.0 口径1.0	(鞘部)長38.7	「短刀銃」とも称される短刀型の銃。刀の柄に該当する部分に発火装置があるが欠損のため詳細は不明	
E	32	生火銃	[天保10年頃]	[久米栄左衛門]	木、金属製	全長112.1 銃身84.5 口径1.4		火縄銃の形を基本として製作された電火式銃。発火機構の部分に欠損があり機構の詳細は	

鎌田博物館 器物資料

	資料	標題	年代	作成者	材質形状	法量1	法量2	内容註記	図
E	33	百目玉筒「百敵砲」	文政七年夏	久米某(花押)	木、銅製	全体幅29.2 長88.7 高31.0	銃身長72.9 口径4.1	砲身銘文陰刻「文政七甲申年夏応需 河地時俣製之 用法一卷附 久米某(花押)」。砲架裏墨書「河地氏」。架台に左右3つの引出がついており、その内の一つに栄左衛門考案の「薬信筒」が入っている	
E	34	火矢筒「憤龍」	[天保10~12年]	[久米栄左衛門]	木、金属製	全体長67.0 幅19.1	砲身長32.0 口径4.0	砲身陽刻「憤龍」。雷火式火矢筒。砲身の側面には一対の獅子の装飾が付き、菊花模様があしらわれた手の込んだ造りになっている	
E	35	地雷火用桶			木製、竹	径43.7 高29.2		底に溝加工	有
E	36	諸葛弩	[江戸時代後期]	久米某改制	木、金属製	本体7.7×41.5× 13.5	弓部(復元)長59.3 反り6.0 矢長29.8 矢径0.7	側面墨書「退盜之良器」「久米某改制」。矢2本入り	
E	37	弾機			金属製	長48.5	(弾)径4.0	柄陰刻「石川義一作」	有
E	38-1	棒火矢			木、金属製	幅4.8 奥行75.2		側面に墨付。下部に墨書「イ」。先端部墨。羽根3枚	有
E	38-2	棒火矢			木、金属製、	幅6.0 奥行73.8		羽根3枚	有
E	38-3	棒火矢			木製、紐	幅5.7 奥行64.0		側面に墨書「弾機」「■」。側面ミゾに「十一」「十二」「十三」	有
E	39	風砲箱			木製	幅19.5 奥行133.0 高7.0		箱のみ伝わる。中に薬きょうあり	
E	40	機関佩銃箱			木、布、金属製	幅32.8 奥行42.7 高4.5		蓋なし	有